2027年３月期　中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　北海道歯科産業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7693　　URL　https://www.hokusan-kk.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役　（氏名）　山田 哲哉
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長　（氏名）　神谷 康弘　TEL　011-813-5556
中間発行者情報提出予定日　2026年12月９日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期中間期の業績（2026年３月21日～2026年９月20日）

（1）経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,445	9.1	16	637.9	26	167.5	17	△9.0
2026年３月期中間期	2,241	△2.7	2	△90.6	9	△67.0	19	33.2

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	3.62	―
2026年３月期中間期	3.98	―

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	1,374	838	61.0	174.75
2026年３月期	1,512	823	54.4	171.63

（参考）　自己資本　2027年３月期中間期　838百万円　2026年３月期　823百万円

２．配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	0.50	0.50
2027年３月期	0.00		
2027年３月期(予想)		0.50	0.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年３月21日～2027年３月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,798	0.7	33	△42.6	52	△31.6	34	△45.5	7.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,800,000株	2026年３月期	4,800,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	―株	2026年３月期	―株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,800,000株	2026年３月期中間期	4,800,000株

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

２．中間財務諸表及び主な注記
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間財務諸表に関する注記 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇による個人消費への影響や、地政学的リスクに伴う資源・エネルギー価格の変動、金融資本市場の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

歯科医療業界におきましては、国民の口腔健康に対する意識の高まりや予防歯科への関心の拡大に加え、口腔内スキャナーやCAD/CAMシステム等を活用したデジタルデンティストリーの普及が進み、診療の効率化や医療サービスの高度化に向けた取り組みが広がっております。一方で、歯科材料・医療機器の価格上昇や人件費をはじめとする医院運営コストの増加、人材確保の難しさなど、歯科医療機関を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いており、診療の質の向上と経営効率化の両立が求められております。

このような環境下において、当社は「Dental Solution（歯科医療の課題解決）」を企業使命として掲げ、「提案型営業への転換」と「顧客対応品質の向上」を重点施策として、歯科医療機関の経営課題や業務課題の解決に向けた取り組みを推進してまいりました。

営業活動におきましては、従来の商品供給を中心とした営業から、顧客の潜在的な課題やニーズを把握し、商品・サービス・情報を組み合わせた提案型営業への転換を進めてまいりました。特に、口腔内スキャナーや歯科用CT、CAD/CAMシステム等のデジタル機器について、メーカーとの連携による同行営業や実機デモンストレーション、各種セミナーを通じて、歯科医療機関への導入提案および活用支援に取り組みました。また、予防・審美分野においては、セルフケア用品や関連製品の情報提供を強化し、患者の口腔状態やニーズに応じた商品提案を支援することで、歯科医療機関の付加価値向上に努めてまいりました。

顧客対応品質の向上におきましては、従来の営業担当者個人に依存した顧客対応から、組織全体で顧客を支援する体制への転換を推進してまいりました。具体的には、営業担当者の携帯電話に分散していた問い合わせ窓口をコンタクトセンターへ集約し、クラウド電話システムの活用により、顧客からの注文や納期確認等に迅速かつ安定的に対応できる環境を整備いたしました。また、営業担当者への直接連絡が必要な場合にも対応できる仕組みを維持しながら、コンタクトセンターでの対応範囲を拡大することで、顧客の利便性向上と業務の効率化を図りました。これにより、営業担当者の電話対応にかかる負担を軽減し、顧客の経営課題や業務課題に対する提案活動に注力できる環境づくりを進めるとともに、顧客対応の属人化解消とサービス品質の向上に取り組んでまいりました。

さらに、地域歯科医療の発展と生活者の口腔健康意識の向上を目的として、歯科医療従事者向けの各種セミナーや情報発信活動に取り組むとともに、札幌地下歩行空間で開催された「NoMaps WELLNESS 2026」等の市民向けイベントに出展いたしました。これらの活動を通じて、セルフケアの重要性や定期的な歯科受診の必要性を啓発するとともに、生活者のニーズを把握し、歯科医療機関への新たな情報提供や商品提案につなげる取り組みを進めてまいりました。

この結果、当中間会計期間における売上高は2,445,462千円（前年同期比9.1％増）となりました。

また、利益面におきましては、主に輸入製品を中心とする仕入環境の不安定化や、主要メーカー製品の仕様切替による一時的な供給調整が影響したことにより、営業利益は16,808千円（前年同期比637.9％増）、経常利益は26,213千円（前年同期比167.5％増）、中間純利益は17,393千円（前年同期比9.0％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間会計期間末における、資産、負債及び純資産の状況は、次の通りであります。

（資産の部）

当中間会計期間末における総資産は1,374,592千円（前事業年度末比138,406千円減少）となりました。流動資産は1,036,365千円（前事業年度末比179,513千円減少）となり、これは主に売掛金が139,451千円減少及び流動資産の「その他」に含まれる未収入金が34,824千円減少したことによるものです。固定資産は338,226千円（前事業年度末比41,106千円増加）となりました。これは主に建物が33,749千円増加及び工具、器具及び備品が10,182千円増加したことによるものです。

（負債の部）

当中間会計期間末における負債は535,771千円（前事業年度末比153,400千円減少）となりました。流動負債は488,882千円（前事業年度末比154,743千円減少）となり、これは主に買掛金が163,209千円減少したことによるものです。固定負債は46,888千円（前事業年度末比1,343千円増加）となり、これは主に退職給付引当金が1,838千円増加したことによるものです。

（純資産の部）

当中間会計期間末における純資産は838,821千円（前事業年度末比14,993千円増加）となりました。これは中間純利益の計上17,393千円及び配当金の支払2,400千円により利益剰余金が14,993千円増加したことによるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年５月１日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月20日)	当中間会計期間 (2026年９月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	329,075	308,817
売掛金	663,043	523,591
商品	179,026	193,594
貯蔵品	999	1,306
前払費用	4,991	8,535
未収還付法人税等	2,735	11
その他	36,139	612
貸倒引当金	△132	△104
流動資産合計	1,215,878	1,036,365
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	58,508	92,258
車両運搬具(純額)	2,363	1,772
工具、器具及び備品(純額)	2,112	12,294
土地	64,177	64,177
リース資産(純額)	2,250	1,350
建設仮勘定	－	5,000
有形固定資産合計	129,412	176,853
無形固定資産		
ソフトウエア	73,178	65,298
無形固定資産合計	73,178	65,298
投資その他の資産		
投資有価証券	2,133	2,133
出資金	10	10
保証金	25,344	25,344
保険積立金	40,473	40,473
長期前払費用	256	141
繰延税金資産	23,265	24,926
その他	3,045	3,045
投資その他の資産合計	94,529	96,074
固定資産合計	297,120	338,226
資産合計	1,512,999	1,374,592

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月20日)	当中間会計期間 (2026年９月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	546,038	382,828
リース債務	1,980	1,485
未払金	42,688	55,212
未払費用	7,062	6,989
未払法人税等	542	8,550
未払消費税等	10,783	8,620
前受金	11,318	778
賞与引当金	18,386	18,608
その他	4,825	5,809
流動負債合計	643,626	488,882
固定負債		
リース債務	495	－
退職給付引当金	45,050	46,888
固定負債合計	45,545	46,888
負債合計	689,171	535,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,000	24,000
利益剰余金		
利益準備金	8,000	8,000
その他利益剰余金		
別途積立金	199,000	199,000
繰越利益剰余金	592,827	607,821
利益剰余金合計	799,827	814,821
株主資本合計	823,827	838,821
純資産合計	823,827	838,821
負債純資産合計	1,512,999	1,374,592

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年３月21日 至　2025年９月20日）	当中間会計期間 （自　2026年３月21日 至　2026年９月20日）
売上高	2,241,517	2,445,462
売上原価	1,906,215	2,069,778
売上総利益	335,302	375,684
販売費及び一般管理費	333,024	358,875
営業利益	2,277	16,808
営業外収益		
受取利息	227	814
受取配当金	60	－
受取手数料	6,945	7,451
その他	291	1,139
営業外収益合計	7,524	9,405
営業外費用		
その他	1	－
営業外費用合計	1	－
経常利益	9,800	26,213
特別利益		
固定資産売却益	48	－
特別利益合計	48	－
税引前中間純利益	9,848	26,213
法人税、住民税及び事業税	1,489	10,480
法人税等調整額	△10,761	△1,660
法人税等合計	△9,272	8,820
中間純利益	19,121	17,393

（３）中間財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、歯科器械・歯科材料等の卸売販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。